

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・北陸新幹線延伸の人気、名刹のご開帳、大河ドラマの話題で観光客の増加が見込まれる。
		コンビニ（経営者）	・最近のコンビニではやはり来客数が多くなると販売力が上がる傾向が一番強い。これから先はコンビニへの来店が見込まれる行事や気候になるということから、良くなる。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・気温が上昇してきたので、だんだん人の動きが良くなっていく。動きがあるということは活気、元気も出てくる。当地ではプレミアム付き商品券の発売が始まるので、それも考慮するといくらか良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・エアコンや斜め型洗濯機等、特に高額商材に人気があり、売上も少しずつは上がると期待している。
		百貨店（営業担当）	・前年の消費税増税後のマイナス分が今年はプラスになるのではないかと思うので、前年と比較すると良くなる。
		百貨店（店長）	・先行き不透明感は依然大きいものの、企業の春闘での妥結内容をみるに、大手企業で賃金の上昇を指向していることが見受けられるため、やや良くなる。
		スーパー（店長）	・消費税が上がってどん底であった前年の推移を考えれば、当然良くなる。
		スーパー（総務担当）	・売上は前年の9割だが、食品は前年と変わらず、来客数も前年比100%の状況なので、今後は数字が回復していく感じがしている。
		コンビニ（経営者）	・前年の4月は消費税増税後の買い控えがあったので、前年比ベースでは数字が上がってくるとみている。またこれだけ暖かくなってきたので人の動きも良くなってきた。きめ細やかな品ぞろえや在庫量でさらに数字は良くなると考えている。
		コンビニ（経営者）	・北陸新幹線の延伸、名刹のご開帳ということで、当地にも大分観光客が来ることが想定される。いろいろな催しも控えているので、ある程度は販売量が増加すると期待できる。
		コンビニ（経営者）	・株高、賃金のベースアップ等、まだ全体には行き渡っていないが、緩やかに浸透していくのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・天候も良くなり、季節的にも人が動き出す気配がある。各地でイベントや祭りの話が聞こえてくる時期で、祭り用品への問い合わせ等も徐々に始めている。
		家電量販店（店長）	・前年比という見方ではマイナスから抜け出せそうであるが、売上額を以前の水準までけん引する商品群が見当たらない。
		乗用車販売店（経営者）	・4月に主力車種の新型車が発売されるため、販売増が期待される。
		乗用車販売店（統括）	・新型車の発売予定があるため、やや良くなる。
		住関連専門店（経営者）	・マスコミ報道による上場企業のベースアップ等の影響による景気高揚感が発生している。実質賃金が上昇することにより、消費者の購買意欲は高まると考えている。
		スナック（経営者）	・名刹のご開帳など観光客の入込が増え、街全体としては良くなる。当店の客を増やせるかどうかは個々の店舗の努力次第だが、街の中でお金は回るので悪くはならないのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	・北陸新幹線延伸でどういう流れになるのかは分からないが、北陸方面から長野に立ち寄ってもらえるようになればにぎやかになるのではないかと思う。とりあえず5月一杯までは名刹のご開帳があるので、客が増える見込みである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・4～6月の宴会受注及び宿泊予約が順調に伸びている。
		旅行代理店（所長）	・地元の神社の式年行事が本番を迎えるとともに教育旅行のシーズンを迎えるため、やや良くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・現状と大きな変化はないと思うが、4月以降の受注等は前年と比べ増加傾向にある。しかしながら貸切バス運賃の改定によるバス離れが見られ、団体数は落ち込み始めている。また、海外旅行については、テロや航空機事故などで減少気味であり、特に、海外出張などは激減すると見込んでいる。
		旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークから旅行需要が伸びてくることを期待している。
通信会社（営業担当）	・ベースアップなどにより、大きくはないが徐々に消費傾向が高まる兆しがみられる。		
通信会社（局長）	・身の回りで言えば賃金のベースアップ等もあり、若干良くなるのではないかと感じている。		

	観光名所（職員）	・今月は北陸新幹線の延伸、来月には観光シーズンを迎える。大きな伸びは見込めないが、延伸による来客の動きに期待している。
	ゴルフ場（支配人）	・昨年の消費税増税時と比べると予約は順調に推移しており、気温の上昇、桜前線によりゴルファーの気分が上昇している様子である。来年度は客単価アップを目標としている。
	ゴルフ場（総務部長）	・プレミアム付き商品券が発行になるが、その応募が増えているというように聞いているので、活性化が図れると思う。
変わらない	商店街（代表者）	・長野から金沢まで延伸した北陸新幹線が半月前に開業したが、人は駅へは行っても周辺では何も買わない。駅構内に130軒もの新しい店舗ができ、また新しい街ができたような雰囲気、人々は新しい方へ移ってきているような気がしている。
	商店街（代表者）	・客の来店サイクルが伸びてきている。
	商店街（代表者）	・スポーツシーズンになり、これから3か月くらいは最も商品の動く時期となる。親は子供のことならばないお金をはたいていろいろ買ってくれると思うので、何とか3か月くらいは景気は良い。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・4月は県議会議員の選挙が行われる。選挙の年はあまり良くないが、当店は結構商売をさせてもらったので、その影響で変わらないのではないかと感じている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・多少の賃金増でも日用雑貨、食料品の値上げが打ち出されているなかで、電化製品などは必要な時の購入以外は消費者に期待できない。先行きは厳しい。
	百貨店（営業担当）	・仮に賃金が増えても節約志向が急に変わると思えず、また、増えた分のいくらかが消費に回るのか依然不透明で、今月より良くなる見込みはあまり感じられず、変わらない。
	百貨店（販売促進担当）	・地方都市では、都心のようなインバウンド需要や企業のベースアップ等の明るい話題も皆無であり、厳しい状況は続くものと思われる。消費者の生活防衛意識は依然高い。
	百貨店（店長）	・地方では、なかなか株高等の影響があるようには見えず、賃上げする地場企業も多くない。客の購買動向も慎重である。
	百貨店（店長）	・客が各ショップを回り、動きはあるものの購入まで至らない様子がみられる。
	スーパー（経営者）	・前年の4月は消費税増税後の買い控えがあったため、前年と比べると数値は多少良くなる。
	スーパー（統括）	・春闘の大手企業の速報として高いレベルで妥結の報道はあるが、大手企業がない地方のベースアップは当初予想より厳しい状況にあり、消費マインドが好転するほどの期待はできない。
	スーパー（商品部担当）	・競合店に改装計画があり、売上、集客など懸念される部分もあるが、前月からの流れは変わらない傾向にある。昨年、1店舗改装をしたが順調に推移している状況なので、トータルでの数字に変動はないと考えている。
	コンビニ（経営者）	・CMを流してヒット商品が出て売れすぎてすぐ中止になってしまった。
	コンビニ（店長）	・来月からもう新年度になるが、周辺では特別大きな変化が見当たらない。何か情報があれば別だが今のところそれもないので、2～3か月後はあまり変わらない。
	家電量販店（営業担当）	・前年は消費税増税前の駆け込みがあったので、単価、数量など前年の70%で厳しい。
	乗用車販売店（経営者）	・当地域はかなり以前から他地域の人から景気が良いと羨ましがられている。逆に考えると、他都市の景気は大変だということである。私たちは現在をよしとしなければならないのだろうか。
乗用車販売店（経営者）	・客の財布のひもは固く、今後も個人消費が拡大する要素は見当たらない。	
乗用車販売店（営業担当）	・内容的にはまだ厳しいが、少しではあるが台替えを検討するユーザーの動きがみられるようになってきている。	
乗用車販売店（販売担当）	・車の販売は3月が一番良いのだが、今年は大したことがなかった。この先4～6月は毎年良くないので、例年同様に3か月先も良くない。	
乗用車販売店（販売担当）	・今のところ何も良くなる要素が見当たらない。修理や定期的に必ず入る車検等が入ってくるが、新車、中古車の売行きは現時点で全く読めない状態なので、よほど特別な事情がない限りは今の低い水準のままで変わらない。	
住関連専門店（店長）	・前年の3月は消費税増税前の駆け込み需要でかなり大きな売上があった。4月以降は反動減になったが、今年はその落ち込み分を取り戻せるかが不透明である。4月以降、給与が上がるようであれば来客数が増えてくる。	

住関連専門店（仕入担当）	・個人消費の冷え込みが継続している。必要以上の物は買わない傾向で、来店頻度のマイナスも顕著であるため、厳しい状況が続くと想定している。	
一般レストラン（経営者）	・歓送迎会と思える予約が1～2件あるものの、この先の景気につながるほどではない。	
一般レストラン（経営者）	・政策的には地方創生ということをやっているが、具体的にどのような対策を講じているのか分からず、地方にはまだ兆しが見えてこない。景気はまだまだである。	
一般レストラン（経営者）	・名刹のご開帳等のイベントがあるため、一時的に来訪者は増えると思うが、終わった後の反動が心配である。	
一般レストラン（経営者）	・景気の回復感に底堅い感じはなく、景気回復を確信できないために、支出の増加については非常に慎重になっているように感じられる。	
スナック（経営者）	・北陸新幹線、名刹のご開帳などに期待はしているが、それは一時的な話であって、1年間続いていくような気はしないので変わらない。本当に大変である。	
観光型ホテル（経営者）	・来客数は前年比で概ね100%前後を推移している。	
観光型旅館（経営者）	・ライフスタイルの変化に伴う旅館業の苦戦は構造的な問題であり、外部の要因により改善することは考えられない。自助努力により、何とか改善の糸口を見つけていけるか。	
都市型ホテル（営業担当）	・世の中の景況感はちょっと上向きだという話があるが、当社のビジネスホテルの運営からすると前年度と比べて良くない状況が続いているため、まだ不安材料があり、3か月後は良くなるというよりは、現時点では抑え目にみて現状維持と考えている。	
都市型ホテル（副支配人）	・インバウンド等の団体予約は好調に入ってきている一方、個人、ファミリー客に関してはほぼ前年並みであり、トータルで判断すると現状と変わらないように感じる。	
旅行代理店（従業員） タクシー運転手	・世界情勢が不安定である。 ・ここ2～3か月は前年同月比が100%前後で動いているので、先の予測は分からない。	
通信会社（経営者）	・節約志向が定着してしまい、今後も新規加入の増加は見込めない。	
通信会社（局長）	・変化をもたらすほどの材料が見当たらない。	
テーマパーク（職員）	・今年のゴールデンウィークは、日並びが海外旅行向けであるため、期待が薄い。	
競輪場（職員）	・競輪界で一番のビッグレースである全日本選手権の売上が思ったほど伸びないので、変わらない。	
美容室（経営者）	・10年前と比べたら売上は30%近く下がったままで落ち着いてしまっている。イベントや販促もしているが、町の定住人口も減っているため、売上、来客数共に増加の気配はない。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・統一地方選挙の時期に関しては来客数が落ちる可能性がある。その後は若干盛り返す可能性もあるので、全体的に横ばいと考えている。	
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・ガソリン価格が上昇傾向にあるので、先行きに不安が残る。	
設計事務所（経営者） 設計事務所（所長）	・新たな依頼が少ない。 ・今月の決算を乗り越え何とか新スタートを切りたい。今後の景気は今月にかけていると思うので、何とか危機を乗り越えたい。	
住宅販売会社（経営者） 住宅販売会社（経営者）	・地価の上昇も見込めず、業界的には良くなる要素が見つからないため、変わらない状態が続くと予想している。 ・3月はたまたま社員の異動の時期なので引き合いや成約が多いが、実際これが終わってしまうとどうなのか、また平常に戻り、そんなにも良い景気とは言えないのではないかと感じている。土地等についても安い物件については引き合いがあるが、まだまだデフレの状況がある。	
やや悪くなる	スーパー（店長） コンビニ（経営者） コンビニ（店長） 衣料品専門店（販売担当）	・当店は高齢の客が多いため、大企業の賃金が上昇してもあまり反映されず、かえって買い控えをしている。 ・店舗のすぐ隣に4月の初めにファミリーレストランがオープンする。その影響で今後は売上が少なくなる。 ・円安効果により値上げされる商品がかなり増えることから、安値を演出できる大型スーパー等に一層客が流れるため、やや悪くなる。 ・4月からまた値上がりラッシュで、客の口からもそんな話しか聞かれない。当店の扱っている婦人服の対象客が会話の中でストレスを解消しているような状況で、これが買物まで進むというのはかなり厳しい。値上がりが続くとしばらくの間はその余波で自分の買物は相当控えてしまうのではないかという危機感が相当ある。

		乗用車販売店（管理担当）	・年度末の駆け込みの影響により販売減となる。
		自動車備品販売店（経営者）	・車関係では税金等が上がり、身の回りには良くなるような条件が感じられない。
		その他専門店〔燃料〕（従業員）	・例年、需要期が過ぎると2割ほど使用量が減少するので、厳しい状況となる。
		タクシー運転手	・タクシー業界から見た景気は最悪である。
		タクシー（経営者）	・2～3月の動きが悪いのでこの先も悪いとみている。
		タクシー（役員）	・年末から大手企業や中小企業等の人の動きが悪いためである。
		美容室（経営者）	・美容院は個人企業の集まりで法人組織が少ないため、競合店が非常に多く、内閣府の規制改革会議等が盛んに注目されている状況である。美容業界としても影響があるので美容組合としても注目して見守っていききたいと考えている。
		設計事務所（所長）	・現状で回答したとおり、建築業界にとって、今年は昨年とは全く違った展開になるという恐れを感じている。
		住宅販売会社（従業員）	・物件の仲介数が逡減しており、別荘の中古物件が売れなくなってきた。
	悪くなる	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・末端の消費意欲は更に冷え込みつつある。
		通信会社（経営者）	・LPガス販売については、来年の電気小売自由化、都市ガスの自由化等、業界がとうたの時代に突入となる。アベノミクスは大企業には恩恵があるが、中小零細はある意味切り捨てで、すなわち地方の切り捨てと言えるのではないだろうか。日本経済の再生や地方創生には中小零細の底上げこそ重要である。先行きに光が見えなくては設備投資も賃上げもできない。
		通信会社（経営者）	・消費税増税は延期されたものの、4月からの各企業の値上げ競争により、買い控えどころでは済まされない状況となる。
企業動向関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・円安で太陽光発電のパネル、架台、パソコン価格の大幅な値上げが来ているが、売電価格が初期の値段で連携できるため、十分吸収できるので、良くなる。
(北関東)	やや良くなる	食料品製造業（製造担当）	・まだ、すべての店舗ではないが、確実に経営内容は改善していくはずである。販売量がどこまで落ちていくかだけは想定内で収まればよいが、大変難しい。
		食料品製造業（営業統括）	・円安も安定してきており、ガソリン価格も低下して自動車由来の客も増加している。一方、欧州へのワイン輸出に加え、東南アジアや中国への輸出も徐々に進みつつあり、今後の伸びが期待できる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・新規の航空部品案件が安定生産に移行するとともに、引き続き自動車関連の開発案件が増加する見込みである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の輸出が増加しているため、やや良くなる。
		建設業（開発担当）	・公共工事の発注額が前年比5%増となっており、当社の受注額も前年比10%増と、何とか安心できる状況で、これもアベノミクス効果だと思っている。10年以上続いた建設業不況から比べると本当に有難い。当社もピーク時に比べ人員も半分に縮小した状態であるが、何とか現況で事業を維持していきたい。
		建設業（総務担当）	・建設業の閑散期である4～6月期にもかかわらず、公共、民間共に発注予定や見積依頼で動きがあるように感じている。
		金融業（調査担当）	・賃上げなど所得増が期待されるほか、名刹のご開帳で観光客の増加が期待される。
		広告代理店（営業担当）	・新年度の販促予算は1割程度増えている。新たに広告ツールを作成したり、既存のパンフレットなどをリニューアルする依頼も増えている。
		経営コンサルタント	・春の到来、年度替わりといった精神面の高揚感と共に、昨年の消費税増税の負担感が鎮静化したのに伴い、個人消費意欲が増しつつあり、企業の設備投資意欲もほぼ順調に推移すると思われる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、商談件数が伸びており、受注量、販売量の増加につながると予測している。
	変わらない	化学工業（経営者）	・現状の生産を維持する程度の受注予想しかなく、先の引き合い件数も多いとは言えない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特注品受注の話はあるものの、実際はなかなか受注につながっていない。

	金属製品製造業（経営者）	・以前から考えれば仕事は少しは良くなっており、先のことは分からないが、これから2～3か月は今までのように少ないながらも安定した仕事量が得られるのではないかと感じている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先5社のうち2社が在庫調整のため、在庫がはけるまで生産を控えるという状態である。ほかのところも在庫調整なのか売れないのか分からないが、仕事量としてはかなり落ちており、厳しい状況になりつつある。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・2～3か月は現状維持で推移しそうである。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この1年間は全く分からないうちに過ぎたような感じである。やや良い会社があればやや悪い会社もあり、非常に良い会社があれば非常に悪い会社もある。2～3か月先はよく分からないが、今のところは利益があって業績はまずまずなので、このままでいけばまあ良いかなというところである。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・春先は宝飾業界も活気が出てくるどころだが、3月に香港で行われた展示会では中国の外貨持ち出し規制の強化やわいの締め付け等の影響で、入場者、売上共に2割ダウンである。中国経済の様子により、宝飾業界をけん引してきた中国相手の業者が落ち込むようなことがあれば、全体が冷え込む可能性がある。	
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのままの状態が続く。	
	輸送業（営業担当）	・今後は季節が変わり暖かくなるにつれてレジャー用品、園芸、エクステリア用品の物量が増えてくる。また、一時の燃料高から価格が下がってきたことは好材料であるが、それ以外の景気回復の状況は感じていない。	
	通信業（経営者）	・変わりそうな気配がない。	
	金融業（役員）	・賃金上昇を期待しているが、地方の中小企業は賃金上昇が見込めないというなかで、消費の拡大があまり見込めない。もう一つは、円安等により材料費が上がっているために利幅が少なくなっていること。しかも2次、3次下請は価格競争にさらされて利幅が非常に少ない状況ということ考えると現状維持が精一杯である。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・賃上げに関する報道が盛んにされているが、「どこの話だ」とか「とてもあんな額は」といった声を耳にしており、業績向上、景気回復の体感はない。4月から2か月に渡る名刺のご開帳が気休めになるくらいだと話している。	
	司法書士	・良くなる要素が見当たらないので、このまま少し悪い状態が続いていくのかなという懸念をもっている。	
	社会保険労務士	・太陽光発電の事業者は年内一杯仕事が埋まっているようだが、その他の中小事業者はあまりいい話を聞かない。	
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・4月以降の仕事が確定せず、先行きが不透明である。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず利益が上らず、資金繰りが大変である。
		一般機械器具製造業（経営者）	・4～5月と大幅に受注量が減少するという情報が入っており、それ以降については不透明な状況である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・メインの取引先からの受注が大幅に減少するとの内示を受けている。また、4～6月まで新機種の計画もないという概況説明を受けている。
		不動産業（管理担当）	・新年度からの保守作業、定期作業が減少しており、その分を埋める受注が受けられないため、売上の回復はしばらく難しい状態である。
雇用 関連  (北関東)	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・このところやや仕事量が増え、従業員数も少し落ち着いて増えているので、このまま続けばよいと思っている。
		人材派遣会社（管理担当）	・食品製造の派遣先の生産計画は、4月は例年並みだが、5月は連休があるので増える見込みである。
	変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	・周辺企業の景気はまだ一部の企業を除き低迷しているので正社員の募集は少なく、パート、アルバイトの募集が目立つ。
		職業安定所（職員）	・大手企業の相次ぐリストラにより、求職者が増加し、求人倍率が低下することが見込まれる。
		職業安定所（職員）	・新規求人は15か月ぶりに前年同期比で減少に転じ、新規求職者は前年に引き続き前年同月比で増加に転じている。製造業からの求人は横ばい状態で、依然不透明感が漂っている。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加してはいるが、先行き不透明感や、全体の増加率ほど正社員求人数は増加はしていないため、変わらない。

	民間職業紹介機関（経営者）	・ 求人を含ん引する製造業において、企業により業績の良し悪しがはっきりしている。また、海外工場への駐在求人が増えつつあり、国内の求人の効果とならない状況である。
	学校 [ 専門学校 ] （副校長）	・ 次年度の専門学校卒業予定者の就職ガイダンスが開始されたが、参加企業などは例年どおり少ない。定期的な採用という意味では、まだまだという感がある。企業側も景気の動向をみていると感じる。
やや悪くなる	人材派遣会社（経営者）	・ 4月からは新卒者の雇用がかなり落ち着くが、新商品等の積極的な展開ということでの募集傾向は伸びている。原油価格等是不透明だが上がるのではないかと。また、原料の乳製品等の価格も上がるため、買い控えてやや落ち込むような傾向となる。
	人材派遣会社（営業担当）	・ ベースアップがない企業が多い。
	人材派遣会社（支社長）	・ 求人数はさほど増加せず、例年どおりである。求人内容の変化からか、決定率が悪く、オーダーだけはあつてにぎやかだが、結果的にマッチングで結び付く人材は少ない。
悪くなる	-	-